

福新新聞

(毎月十五日)一回
定價 郵税五厘
廣告料 別紙五十五銭

小濱大敷網問題

認可の當不當

惠まれたる海岸生活者、即ち漁周知の事實である。
村の生活の糧は洋々たる大海原故に何れの漁村も大漁に次ぐ大
より是れを採求するに非ずんば漁を以てし、海に無盡蔵の寶庫
を以てし、海に無盡蔵の寶庫

郡南の巨星

山崎登氏

十數年來錦村消防組に大なる功
績を残せし星磯吉組頭は後進の
道を開く爲め先般辭任欠員なり
しに是れが選任上、同村消防幹
部會は後任組頭として新人を以
て知られたる山崎登氏を滿場一
致を以て推薦せり、多忙なる山
崎氏は早速快諾せられて、茲に
若き消防組頭を得たり。

七十七銀行

小名濱出張所の好評
奥羽金融界の霸王として名聲到

銷夏漫言

錦波生

盛夏三伏 例に依つて「言
まじと思へど今日の暑さ哉」
である。
▲盛夏三伏 例に依つて「言
まじと思へど今日の暑さ哉」
である。

自動車の希望

就ての希望
▲文明利器 文化生活の恩人な
る自動車は最近其事故
の頻出する事は近代生活史に
一大の汚点を附するものでは
あるまいか。

陣容一新せる
磐城共済病院

南妙法蓮華經の加澤翁の心血を
注ぎ一生一代の大事業たる磐城
共済病院が開業以來幾多變遷を
齎し、近來殊に難波博士院長に
就任以來頗る人氣と信頼とを博
しつつありしに、亦た産婦人科
の擔當に赤門出の俊才井上俊
次郎學士を以てし其他毎日曜に
は外科へ桂博士、耳鼻咽喉科へ
は渡部學士の診察ありて來院患
者の數頗る増加し、のみならず
多大の好評と信頼とは磐城共済
病院に集注せり、當に地方醫療
界の新紀元であるらんとす。記
者は其の隆盛發展を祈るもので
ある。

- 中元御挨拶
安島重三郎
金成通
鷲清昇
古川傳一
大平陸四郎
兒玉万平
小野魯平
山崎金成三
馬崎登
大平千秋

植田藝妓屋

力なりであるならん。
▲政治の公明 などは畢竟は
口頭禪のみ、ドウして今のデ
モ政黨では。
▲地方特産物 の奨励助成し
て大なる集團より生れんとす
るものなしかと吾人は平素腦
中に描ける問題であつた。
▲然るに石城郡農會 が主体
と果實組合大聯合會の組成を
見んとす、結束せよ、團結し
て此の大計畫に参加せよ、永
遠の方針に突進して大なる能
率を示せよ。
▲自動車運轉手諸君 に希ふ
自己の使命のみの覺醒のみな
らず完備せる法規の何たるを
知りて事故絶對なしを以て決
行して天下に範を示せ。
▲最近の平町 に傳染病の流
行を見る、各人大に自己の愛
護の爲に自重自愛病魔と闘へ
暴食或ひは不攝生なる行爲を
慎めよ。

本社外二社合同 店員慰安會

去る二十八日磐城中正新聞社、品の山を爲し、實探しの余興に磐城大衆新聞社並に本社の三社尚ほ美味なる中食を喫し各會員合同の平町店員慰安海水浴大會大に愉快に一日の清遊を了せりは四倉町海岸通り大天幕内に開實に此の計劃たるや意義を大に催す。

朝來より全く恵まれたる晴快の因に平町各商店各位の熱烈的な日百余名の會員を以て埋れ、平の御援助の段を深く感謝する次町各商店より寄贈されたる各景第である。

近く具体化する 石城果樹聯合組合 梨を主として桃 葡萄等 年産實に三十萬圓以上

石城郡産の梨が逐年中央市場に高値を高めつゝあるに鑑み果樹聯合を組織し現在平窪村の組合外十二組合あり年産額六十萬圓約二十萬圓の多額な収入となりこれに桃、葡萄等を合すれば實に三十萬圓に達し農家の副業にして近年の如く米類の低値時に於いては最も必要欠くべからざるもので郡農會では一層指導獎勵に努めその他に組合組織のせう應をなすつゝあるが今回郡南を打つて一九として果樹聯合組合を設け藥品、肥料等の購入は勿論レツナルを一樣にして販賣に便ならしむると同時に益聲價の向上を圖らしむるときは約現在の二割以上利益を多からしむる事は左程困難な事でないとの腹案が出来たので同農會では去る七月三十一日各組合長及關係者を集め組織を勸奨したが大体賛成の意見であり近く具体化する模様で準備に着手する事

レシーバー

▲衛生保健上欠くべからざる必要品なりと値下し大に水愛用者の味方たりしも八月一日より値上を断行す、偽善業者より、町民を欺く勿れだ(糖喜び生)

▲町會議員様に申上げます、随分の御出世で御座いますよ、候補者時代の當選苦で三拜九拜したあの時を御忘れで御座いますか。(天保鏡議員)

▲四丁目の裏通りを表の某商店で我物顔で獨占使用して居る一体天下公道を私用して交通遮断とは亂暴の其極である。當局者公平なる取締を執行すべきだ。(ワカラズヤ)

▲夏の衛生、殊に飲料水各種を充分に取締つて欲しいよ、○の使用など平氣でやつて居る水もあらあ。(不潔漢生)

▲亂行の聲を四隣に振はせし某女子校長○君、最近田町一流の夏子さんとの○會を御中止ですか、今日此頃は御茶を奴もありません故十二分に稼せて下さいな、貴郎は亂行に非ず徳行の紳士と手向けして拜みますわ。(田町雀)

▲僕等は常に田町美人に戀する勿れと申して居つた、去る日午前二時上り急行での出来事は第二故郷であつた平町を後に花の都へ世帯固の爲め歸る彼女を見送つて男泣き泣いた人もあつたさね、遊女の戀は恰も春の雪の如く淡くハカナイものなり哉。(旅の怪人)

▲僕等の崇拜して居つた三島家の八千代も去り、亦た同家の當八姐御は堅氣となつて懐かしいの故郷に歸りぬ、○家○妓○の等も勇退との事、聊か寂寞の感に堪はずだ、何んと美人團で組織しはしないかね。(黒手組の助八)

▲平の遊蕩諸君に申上げますよ新妓の○○を得意として御宣傳なさるだけは御憤み遊ばせ(新妓團長生)

▲竹の家あや子、毎日々々よくも四倉海岸に行くね、初戀の思出は彼の海岸の一角で生れたのか。(長生)

▲幾年振りの酷暑に、山に海に涼を趁ふ人々の懷中も比較的冷たしとか、物質の冷は靈的の熱を以て調和せよ、徒らに虚勢の生活に走る勿れ。(一言居士)

▲誰れだ、「風の日も雨の夕も我が惱む醜き心の富士子なるらん」なんて鮫川邊り迄遠征などをするの、好評ある○田君であるまいかね。(家傳業者)

▲水道も枯れ、人生の感も枯れ總ての俗世界を脱却して戀しい○さん、四倉山の公園で○したの御前○とか(海千鳥)

▲衛生行政の不振は平町の不名誉だよ、今少しく誠實に實行して呉れ。(ドロク生)

▲定評あつた○君は寂然として平の地を去つた、彼れ去つた後で喜ぶ人は幾人あるならん。(公平の人)

▲平青年團長藤田榮助君に質問す。一、七月下旬發行を公約された青年團報は何年度七月下旬なり哉。二、八月四日各團長並本團幹部等の鮫川清遊會の一行に本團が補助せし金額は如何なり哉。公明正大なる發表を待つ。(新川町團員吉田生)

同業の消息

▲平新報の定期發刊には感服する。紙面の花形たる裏東京の花は大なる收穫と喜びます。磐城中正新聞の安澤氏及び磐城大衆新聞の長谷川氏の健闘

▲振りには敬意を表す。磐城經濟新報の鈴木鐵鐘氏最近に於ける偉作を發揮す、矢張り同氏は獨特の編輯振りである。

▲磐城公論の山田緑雨兄弟都より歸來後濱口内閣に一言を早すの痛烈なる健筆には流石は早稲田の森の才人である。

▲益々綠雨氏に自重あらん事を馬目雅治君從來の磐城調査新報を廢刊し更に磐城昭和新聞の創刊に準備中だぞ、一日も早く其成功を祈る。

▲各町村會議員戰當時姿を現はせし磐城革新新報、磐城めざまし新聞等今は煙と化して其の殘骸何處に。

暑中御伺申上候

東洋捕鯨株式會社
小名濱工場

堀江工業會社 江口忠一

住友生命保險株式會社平出張所

福島 寛利

内郷村不動澤字白水 杉山 炭 礦

杉山 今朝 吉

内郷村白水 加納 炭 礦 坂田 順 治

金星

福島縣石城郡内郷村白水 五十嵐炭礦不動澤鑛業所

平出 張 所 平町城山三ノ丸(電話七二四)

内郷村白水 浪花炭 礦

佐藤留藏 礦員一同

内郷村白水 神奈川炭 礦

衛生試驗所、病氣相談所、救療所(共濟病院内)

●救療を申込るゝ方は當相談所へ御話し下さい

平南町 共濟病院

電話六四一番

入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

内科 小兒科 (入院應需)

藤沼 醫院

平町 紺屋町 電話平四七番

朝日 煙突

程す晒に露雨

煙突は 朝日

石綿セメント製

朝日煙突

絕對に はげない!!

経済的で 火災の心配がない

特約店 久益屋商店

電話 九九三

肺病助膜 専門薬

不パ錠

薬價 十一日分 七〇〇 卅三日分 二〇〇〇

▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。

▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。

▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。

▲説明書密送す 御申込あれ。

代理店 平町 山野邊藥局

五丁目角